

2015/04/01(水)22:48

科目名	情報処理B	学年	1
サブタイトル		単位	1
教員名	太田 信宏	メール(@以下非表示の場合 shonan.bunkyo.ac.jpを付加)	ohtan@shonan.bunkyo.ac.jp
授業概要	現代社会にあふれている膨大な情報を有効活用するためには、データを適切に処理していく能力が求められる。この授業の目的は、データの整理・加工・分析方法の習得である。具体的な学習内容は、表計算ソフトによるデータ表現、情報を主体的に入手するためのアンケート調査とその解析方法、処理したデータを効果的に表現するための技法などである。授業は表計算ソフトおよびデータベースソフトを利用した演習形式で行う。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業オリエンテーション、スキル確認テスト 2. 表計算ソフトの基本操作、計算式の活用 3. 関数(合計、平均、最大、最小)と数式のコピー、セル参照 4. 関数(件数、順位)と表の書式設定 5. データベース関数(検索条件の指定) 6. グラフ表現1(棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ) 7. グラフ表現2(3Dグラフ、複合グラフほか) 8. 複数ワークシートの処理、グループ化と3D集計 9. ピボットテーブルによるデータの検索と加工 10. アンケート調査と集計 11. データベース機能(並べ替え、抽出、集計処理) 12. データベースソフトの基本操作とテーブルの作成 13. クエリの操作(検索、抽出、加工処理) 14. レポート機能と印刷 15. 授業のまとめと復習・授業アンケート 		
評価方法	評価の割合は、定期試験45%、授業中の課題45%、平常点10%として100点換算する。定期試験はPCによる実技試験を行う。		
評価基準	定期試験(実技試験)では、表計算ソフトの基本技能および実践的な活用能力をみる試験を行う。授業中の課題については、提出点50%、内容点50%として評価する。内容点とは、成果物の完成度・内容・分量・センスの総合点である。すべての評価項目を100点換算した点数で90点以上をAA、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、59点以下をDとする。なお欠席、遅刻は減点の対象とする。遅刻3回で欠席1回分とみなす。		
テキスト	資料を配付する。		
参考書	使用しない。		
受講者へのメッセージ	この授業の目的は情報の整理・加工・分析です。表計算ソフトやデータベースソフトを活用して、情報を有効活用する方法を身につけて下さい。		